

|                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| <b>爲</b>                           | <b>璘</b>                    |
| 對目<br>瑞應金                          | サントス四股<br>十千五<br>才七級<br>十千五 |
| 西、六六五<br>五、八一〇<br>一九、七七〇<br>八〇、〇五〇 | ノミナル<br>一一二、〇〇〇             |

日獨伊同盟に深き御叡慮

【東京廿八日同盟】天皇陛下におかせられては、廿七日三國條約締結調印にあたり畏くも左の如き詔書を渙發あらせられた

大義ヲ八紘ニ宣揚シ坤輿ヲ一字タラシムルハ實ニ皇祖祖宗ノ大訓ニシテ朕カ夙夜眷々措カサルトコロナリ然シテ今ヤ世局ハソノ爭亂停止スルトコロヲ識フス人類ノ被ルヘキ禍難又正ニ計ルヘカラサルモノ有ムトス朕ハ禍亂ノ鎮定平和ノ克服ノ一日モ速カナラムコトニ軫念極メテ切ナリ即チ政府ニ命シテ帝國トソノ意圖ヲ同シクスル獨伊兩國ト提携協力ヲ議セシメ茲ニ三國間ニ於ケル條約ノ成立ヲ見タルハ朕ノ深く欣フトコロナリ惟フニ万邦ヲシテ各ソノ處ヲ得セシメ庶民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンセシムルハ曠古ノ大業ニシテ前途甚タ遼遠ナリ爾臣民益々國體ノ觀念ヲ明徴ニシ深く謀リ遠ク慮リ協心戮力非常ノ時局ヲ克服シテ以テ天壤ノ窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

## 河田藏相金融界に要望

【東京二十八日同盟】河田蔵相、演説要旨

の三國條約の成立に當り、特に全國の金融機關經營の衝に當る者に對して望む處は各位が世界經濟に於て占

東條陸相 省内全將校に訓示

陸相訓辭

茲に、内、國防國を體制の  
確立その緒につき、外、日

覆面の功勞者はスターマー氏

「東京二十七日附」二十七日、伯根に於て正統華艦を見たり。獨逸ノ國條約を成立に至るまでの經過は次の如くである。即ち

と共にと同月九日松岡外相を訪問し、日獨伊三國間の新條約に鑑み、翌十日の交換差違を経て、翌十二日は英外長顧問、スターマー公との面談

會見が行はれ、白鳥副議長は直ちに右會見の原簿を讀み了りて近頃首相を訪問、新條約の成立を確言し、更に對英法各國にも至り、茲に漸次御師匠の完了を見し。

現存政治に影響な

櫻痴と云ふ大理想の實現に  
 邁進し來つたが、去る九月  
 の七日リッペンロップ獨  
 外刊の感を受けて來朝した  
 ドイツ特派節師ヘーメル  
 公使は、オットー結成大使

東亞日人同盟 日獨伊三  
 國同盟條約は六ヶ條よりなり

現存政治に影

日獨伊同盟

その要旨は左の如くである  
 一、日本は獨伊の歐洲に於

鐵相  
小川郷太郎氏

前午日八十二「  
らせは行式任親

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 厚<br>相 | 拓<br>相 | 鐵<br>相 |
|--------|--------|--------|

小川郷太郎氏  
秋田 清氏  
金光庸夫氏

川郷太郎氏、拓相は秋田清氏、厚生相は金光忠夫氏に内定、一時十五分宮中に参内内奏した、親任式は廿八日午前執り行は

任鐵道大臣  
 任拓務大臣  
 任厚生大臣  
 小川郷太郎  
 秋田  
 金光  
 唐夫

廿七日、藤村は小川郷太郎氏、  
 郷村は秋田藩氏、  
 厚生は金光唐夫氏に内寮、  
 近衛百郎  
 は廿七日午後四時十五分富田に参内内寮した。  
 参任式は廿八日午前執り行はせられた

の陣を張り  
べく焦燥徒  
或ひは區

制を一新し、盟  
邦と相携へ世界

る處ならざるべ  
を軍勢に奉ずる  
思ひを茲に改し

苟も我を阻む者に歸しては、眞實正義の旗を張るて之に對峙すべく熾燃使らんに眼を弄し、或ひは萬々の敵軍を纏へて事敵を窮敵するが如きは、吾人の窮じて降ざる處なり。皇

國今や國內の體制を一新じ、盟邦と相携へ世界秩序再建の棟梁たらんぞさす、

試みんと欲せりと雖も、實戰を斷つに準ずるものよし  
盟國を鑑に鑑し、自衛目  
各々その分を盡し、奉公  
べきを盡すに遺憾なきを期

スネル内相ローマへ赴かん

「ベルリン廿七日附」日獨伊三國對英約國の重要使命を果したチアノ首相は、廿七日午後三時、日來ベルリン滞在中のスネル、スベイン内相と長時間に亘つて會見した。

首相と會見する際、スベイン傳へられ、歐洲、アフリカの新秩序を記し歸するスベインの最終態度決定に關し、愈々近日中に重大な發表が行はれるものと豫想されしに到つた。

内相は更にチアノ首相とローマに赴き、ムッソリニ

## スネル内相ローマへ赴かん

既成事實の成文化

相、及配相と相所備番、影に重ぬ候所へ、影に十  
四日も、輪廻を廻行し、次で十六日國府緊急開議を開催  
更に番廻り、重ぬの結果、意  
見の差を見たものである

「ワシントン廿七日開盟」ル  
ーズベルト大統領は、廿七日  
午後急遽ホワイトハウスに  
国防閣僚、自衛者を招き、重要  
協議を行つたが、ハル閣長  
官は右開議後、日獨伊三國開  
盟成立を公に闢し、新條政府の  
既成事實の成文化に過ぎず、  
然も米國の密附の中には  
素策が低に織りこめられて  
ゐるとの説明を行つた

伯林各紙の同盟評

伯林廿八日新聞云、ベルリンの廿七日のドイツ各紙は、**一なし**とも全頁放散の大活字で、**約の要旨**を記す。日獨伊同盟締結の大意は、**獨ソ、日ソ關係を**下記條約成文、三代表は、**建設を妨害せん**を根據、日獨伊同盟に依り英は先鋒に孤立するに努つたと英に對する新條約の範圍、**然に封じたもの**軍事同盟を解散してゐる、**として重視して**更に各紙共三國條約が特に特定の條文によつて聯文の友誼關係に言及したことは、**將來に日ソ關係の完全強化**に對する英の意圖を露明してゐる、**期待されるもの**と論じてゐる。

世界新秩序完成に寄與

[illegible]

具體策につき交渉を進  
見、日獨伊三國同盟を  
「とコキ下し、日、西兩

自前門を砲撃するは、英海軍の艦隊に對して、  
第一、謝罪事項は日獨伊各々  
と聯つたものに限る事を政治  
上考慮に何等の影響を及ぼさ  
ずとする

本條約は即ち實地十時間  
を要し、今陸軍の機動を  
表現した、而して今日陸軍の  
失却には大なる言辭一無なし  
戰術には表現する言葉が無い  
ト云き下り、日、西南兩國が  
奮闘しては表現する言辭が無い  
方方針とれど田畑組がした、  
獨逸は急遽で轉る、獨逸金銀幣のみで、  
黒守け出来ないと言ふ

今日獨逸は露水の加費、  
ばねらんの穀類懸度、職

磨情報部長語る

[illegible]

といふ。又、**お山**は、**お山**に對する。指して、**五嶺**のふぼつてた。初秋の風はさやかに例の響を、かろく響つて

「その耳に、フイと聞えてたものが、風か——と」  
「あ、三郎だ」  
「三郎は、歌麿の聲が遠く見よ——いま箱舟の櫓子、ヨコナンと止まつて、危

(二百三十一)  
 (でくろ船)  
 の地震(三ノ四)  
 震、またしき  
 、死にたくない」「  
 なんだたんに、へとし  
 が付いてみると、膝の  
 報じる道はどこにもないの  
 活耀は、いまはもう日曜  
 沈着を忘れて、狂のやう  
 なつた  
 「おれは……おれは、死に  
 くない。死にたくないのだ  
 ー助けてくれや。助けて

あはれ大名 (豊上 藩主)  
久我 莊多郎



レシフエ市で見本展示會

聖市日本商業會議所

より過般役員會に於て決議を  
左の諸氏が當選した

世界新報社に即して、日伯兩國の通商使館と商議擴張のためのその地位を急ぎつゝあつた取引日本商業會議所と協定を結んで、遂に總局を所見より過半数の賛成に於て決議を見た

一、八部門理事の制置の件  
二、八部門理事の會頭の指名に依るものとす  
三、専ら理事の制置の件  
四、役員任期は三年とす  
五、毎年五月定期總會を開

左の諸氏が當選した

會頭 蘇谷孝一 廿二票  
副會頭 後藤武夫 廿一票  
第一會計 渡邊健男 十一票  
第二會計 杉本芳之助 九票  
第三會計 藤村孝一氏より、八部門理事の指名あり左の諸氏が推された

十年前の約三倍

|                                              |          |          |
|----------------------------------------------|----------|----------|
| 昨年度に於て、伯國で產出した鐵產物は、表表の如く一九三〇年時代よりも一倍以上増加したる。 | 銑鐵       | 一六〇・〇一六噸 |
|                                              | 鋼鐵       | 一四〇・九五噸  |
|                                              | 金        | 六・四三五〇瓦  |
|                                              | 銀        | 八四二・一二五瓦 |
|                                              | 鑽石       | 七二二・九二五瓦 |
|                                              | 琥珀       | 二五・〇一噸   |
|                                              | 塩        | 五〇・二〇三噸  |
| 石炭                                           | 〇・四六・九五噸 |          |
| セメント                                         | 六九七・七九三噸 |          |

パイオニアの群

「私と安田君に當てはめる譯では万が一が、甚の切つて居るフジルの人の御親戚主の一人だ。數が數回行くのは收帳の時の或間に過ぎないが、何時もいづれである。可いが、」

「時」も赤子で成箱が買くない。そこで彼は支配人を取換て見た。それからは黒字が出て来た。はく／＼喜んで居ると一簇の諸般は現はれて「オオサセはトロロシヤだ。」と云ふ。

# 一齊に國勢調査

|         |        |        |        |        |         |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 勤令に依るる  | 十月一日朝零 | 時を期し帝版 | 國內に於ては | れる國勢を  | 子に益を    |
| の地位     | 四、年餘   | 五、外    | 國在留年數  | 六、職業   | 七、財産の程度 |
| 八、教育の程度 | 九、哲學   | 十、兵衛關  | 十一、出生  | 十二、學問  | 十三、學問   |
| 十四、學問   | 十五、學問  | 十六、學問  | 十七、學問  | 十八、學問  | 十九、學問   |
| 二十、學問   | 二十一、學問 | 二十二、學問 | 二十三、學問 | 二十四、學問 | 二十五、學問  |
| 二十六、學問  | 二十七、學問 | 二十八、學問 | 二十九、學問 | 三十、學問  | 三十一、學問  |
| 三十二、學問  | 三十三、學問 | 三十四、學問 | 三十五、學問 | 三十六、學問 | 三十七、學問  |
| 三十八、學問  | 三十九、學問 | 四十、學問  | 四十一、學問 | 四十二、學問 | 四十三、學問  |
| 四十四、學問  | 四十五、學問 | 四十六、學問 | 四十七、學問 | 四十八、學問 | 四十九、學問  |
| 五十、學問   | 五十一、學問 | 五十二、學問 | 五十三、學問 | 五十四、學問 | 五十五、學問  |
| 五十六、學問  | 五十七、學問 | 五十八、學問 | 五十九、學問 | 六十、學問  | 六十一、學問  |
| 六十二、學問  | 六十三、學問 | 六十四、學問 | 六十五、學問 | 六十六、學問 | 六十七、學問  |
| 六十八、學問  | 六十九、學問 | 七十、學問  | 七十一、學問 | 七十二、學問 | 七十三、學問  |
| 七十四、學問  | 七十五、學問 | 七十六、學問 | 七十七、學問 | 七十八、學問 | 七十九、學問  |
| 八十、學問   | 八十一、學問 | 八十二、學問 | 八十三、學問 | 八十四、學問 | 八十五、學問  |
| 八十六、學問  | 八十七、學問 | 八十八、學問 | 八十九、學問 | 九十、學問  | 九十一、學問  |
| 九十二、學問  | 九十三、學問 | 九十四、學問 | 九十五、學問 | 九十六、學問 | 九十七、學問  |
| 九十八、學問  | 九十九、學問 | 一百、學問  | 一百一、學問 | 一百二、學問 | 一百三、學問  |
| 一百四、學問  | 一百五、學問 | 一百六、學問 | 一百七、學問 | 一百八、學問 | 一百九、學問  |
| 二百、學問   | 二百一、學問 | 二百二、學問 | 二百三、學問 | 二百四、學問 | 二百五、學問  |
| 二百六、學問  | 二百七、學問 | 二百八、學問 | 二百九、學問 | 三百、學問  | 三百一、學問  |
| 三百二、學問  | 三百三、學問 | 三百四、學問 | 三百五、學問 | 三百六、學問 | 三百七、學問  |
| 三百八、學問  | 三百九、學問 | 四百、學問  | 四百一、學問 | 四百二、學問 | 四百三、學問  |
| 四百四、學問  | 四百五、學問 | 四百六、學問 | 四百七、學問 | 四百八、學問 | 四百九、學問  |
| 五百、學問   | 五百一、學問 | 五百二、學問 | 五百三、學問 | 五百四、學問 | 五百五、學問  |
| 五百六、學問  | 五百七、學問 | 五百八、學問 | 五百九、學問 | 六百、學問  | 六百一、學問  |
| 六百二、學問  | 六百三、學問 | 六百四、學問 | 六百五、學問 | 六百六、學問 | 六百七、學問  |
| 六百八、學問  | 六百九、學問 | 七百、學問  | 七百一、學問 | 七百二、學問 | 七百三、學問  |
| 七百四、學問  | 七百五、學問 | 七百六、學問 | 七百七、學問 | 七百八、學問 | 七百九、學問  |
| 八百、學問   | 八百一、學問 | 八百二、學問 | 八百三、學問 | 八百四、學問 | 八百五、學問  |
| 八百六、學問  | 八百七、學問 | 八百八、學問 | 八百九、學問 | 九百、學問  | 九百一、學問  |
| 九百二、學問  | 九百三、學問 | 九百四、學問 | 九百五、學問 | 九百六、學問 | 九百七、學問  |
| 九百八、學問  | 九百九、學問 | 一千、學問  | 一千一、學問 | 一千二、學問 | 一千三、學問  |
| 一千四、學問  | 一千五、學問 | 一千六、學問 | 一千七、學問 | 一千八、學問 | 一千九、學問  |
| 二千、學問   | 二千一、學問 | 二千二、學問 | 二千三、學問 | 二千四、學問 | 二千五、學問  |
| 二千六、學問  | 二千七、學問 | 二千八、學問 | 二千九、學問 | 三千、學問  | 三千一、學問  |
| 三千二、學問  | 三千三、學問 | 三千四、學問 | 三千五、學問 | 三千六、學問 | 三千七、學問  |
| 三千八、學問  | 三千九、學問 | 四千、學問  | 四千一、學問 | 四千二、學問 | 四千三、學問  |
| 四千四、學問  | 四千五、學問 | 四千六、學問 | 四千七、學問 | 四千八、學問 | 四千九、學問  |
| 五千、學問   | 五千一、學問 | 五千二、學問 | 五千三、學問 | 五千四、學問 | 五千五、學問  |
| 五千六、學問  | 五千七、學問 | 五千八、學問 | 五千九、學問 | 六千、學問  | 六千一、學問  |
| 六千二、學問  | 六千三、學問 | 六千四、學問 | 六千五、學問 | 六千六、學問 | 六千七、學問  |
| 六千八、學問  | 六千九、學問 | 七千、學問  | 七千一、學問 | 七千二、學問 | 七千三、學問  |
| 七千四、學問  | 七千五、學問 | 七千六、學問 | 七千七、學問 | 七千八、學問 | 七千九、學問  |
| 八千、學問   | 八千一、學問 | 八千二、學問 | 八千三、學問 | 八千四、學問 | 八千五、學問  |
| 八千六、學問  | 八千七、學問 | 八千八、學問 | 八千九、學問 | 九千、學問  | 九千一、學問  |
| 九千二、學問  | 九千三、學問 | 九千四、學問 | 九千五、學問 | 九千六、學問 | 九千七、學問  |
| 九千八、學問  | 九千九、學問 | 一萬、學問  | 一萬一、學問 | 一萬二、學問 | 一萬三、學問  |
| 一萬四、學問  | 一萬五、學問 | 一萬六、學問 | 一萬七、學問 | 一萬八、學問 | 一萬九、學問  |
| 二萬、學問   | 二萬一、學問 | 二萬二、學問 | 二萬三、學問 | 二萬四、學問 | 二萬五、學問  |
| 二萬六、學問  | 二萬七、學問 | 二萬八、學問 | 二萬九、學問 | 三萬、學問  | 三萬一、學問  |
| 三萬二、學問  | 三萬三、學問 | 三萬四、學問 | 三萬五、學問 | 三萬六、學問 | 三萬七、學問  |
| 三萬八、學問  | 三萬九、學問 | 四萬、學問  | 四萬一、學問 | 四萬二、學問 | 四萬三、學問  |
| 四萬四、學問  | 四萬五、學問 | 四萬六、學問 | 四萬七、學問 | 四萬八、學問 | 四萬九、學問  |
| 五萬、學問   | 五萬一、學問 | 五萬二、學問 | 五萬三、學問 | 五萬四、學問 | 五萬五、學問  |
| 五萬六、學問  | 五萬七、學問 | 五萬八、學問 | 五      |        |         |

バスターに移住地  
農事指導者井上  
新一氏は中野農  
村青年の養生を  
目的として同地  
にバスター農氏  
が、道廚の經營は

ス一名、  
ンサ二名、  
四移住地  
一ヶ年間  
つもある  
働生の勞

何れも鋭氣を養ひつゝあ  
ズンオフの今伯球界に  
のトタブを切つて來る十  
月より第二回中央線野球  
が戦が開幕される、参加

する關心は果然昂まつて來  
日本飛行協會を初め陸海軍  
放送による宣傳、航空

たが、陸海軍、逓信文部各  
省では、本年があたり年<sup>12</sup>の  
元二千六百<sup>13</sup>と日本航空<sup>14</sup>  
既卅周年に當るのを期とし

など舉國一致協力の下に次  
の如く各該の能動が實施さ  
るることを期す

**實施事項**

なは文部當局ではこの航  
空を中心として全國の學

習者、師範、聴講と演  
習活用

なほ文部省ではこの航

言書中である

聖州の第二

團では来る十月十五日から月末にか

事になつた

が、舉行されるがツトラ陸相はじめ

南

米向放送  
今週のフロ

|      |     |    |
|------|-----|----|
| リン   | 一七二 | 一七 |
| ロ    | 一六九 | 一七 |
| ロン   | 一六八 | 一六 |
| スア   |     |    |
| ロン   |     |    |
| シアール | 七三  | 七  |

伯人醫の家庭で夫人の  
三十才前後の  
葡語の話せる  
至急雇入れますから送  
せありたし受付に日本  
も可。高給を支拂ひさ

多少の経験あつて  
日本婦人一名  
は來談又は電話にて問  
て取次ぎます。通勤に

**CINE**  
S. João - Largo  
O Cinema da A  
ニ内ア  
ユ國ル

スランセーズ  
スシネディ  
役団……シヨート……



來る卅日より向ふ一ヶ月間

本年度東山獨特の新柄織物各種  
廉價にて販賣。  
此の好機を御利用下さい。

本店 デイレイタ街二五五番  
支店 コンデ・ド・ピンニヤル街一二〇番

Toyoko Lito.  
・東山絹織物店・

懐しいニッポンの聲を  
「メンデ」の優秀なドイツ製  
ラジオで聴かれよ

説明書は喜んで致します

都 聖市イル 館  
便利、清潔

テール  
シンブリシアーナ街  
田成  
電話 二一七四



**ALMEIDA**  **IRMÃOS**  
ALMEIDA & ALMEIDA  
PRACA DA LIBERDADE 42  
FUNDADA EM 1984  
PHONE 2-1185 - 5 ONI

「カーザ・アル・イダ・イル・ズ」は明日午後一時華々しく再開致します

新らしいファイルマに舊に倍して親しん  
出紙價金の目録

## 豊富に取揃へ

を斷行

お願ひ致すことになりました

1

義 舟 船 義  
▲リフベス 上岡 悠希  
みりのたる桑の木、枝にとび  
返へ水色の小鳥を愛しと  
思ふ  
◇  
○柳川氏「大體結構の描つた  
佳作であつた」「いざいざな」  
は少し見劣がしたので保留す  
性歌やねばならない。  
す(柳川氏「可成り歌  
があり、遊歩にも見合ふべき  
工物」と言つた歌が多い。あ  
のまに、そのまに、素  
に詠ねばならない。  
○堀江氏「出時に關する歌  
が、柳川氏より多い。あ

人の如くに思ひ思ひき  
花びらの白くどめく儼つて  
行けば程なく離れぬ

水原 夕美  
口笛を台風に訪ひしその音を  
語ればかなしもつかにはな  
む

時の風に情のはれし中ぞら  
幾日の月か今更あかるし

大原 太一  
胸にこめて見ゆる光のさ  
やみ

眼裏も無き異國にわ我は義  
兄の無理をも通さと思ふ

舟  
ひるやかに後戻船を想ひ  
ゆらんかよへば遠き

○グザベス 上岡 修吾  
みのたる桑の木枝とび  
あられ水色の小鳥を愛しと  
思ふ

◇  
○野村氏―大體経緯の揃つた「住んであつた『いざ式』」は、父・兄弟が見がたので留す

注懸せねばならない。  
 ◇大膳（友一氏一可成り）  
 であり、進歩にも見るべき  
 のがあるが、まだ小手先の  
 工物と言つた歌が多い。あ  
 のまゝに、そのまゝに、素  
 に詠まねばならない。  
 の鍋牛氏一車時に關する歌  
 常盤の聲を出ないものば

か は 直 り 經 も 心 と

同 な 要 必 に 家 豚 養

